

～町内の川～

先月の迷走台風には本来にま
いりました。が、
町民のみなさんに
影響はなかったで
しょうか？

西原町は大雨が
降ると、たびたび
川の水があふれ出
て冠水します。特
に町内でも小波津
川流域は大雨や台
風の際、浸水被害
が起ります。

もともと川の水は、
流域でも低い位置
にある場所に自然
に流れ集ったもの
ですから、流域の
環境が変化すると、
川の水の流れにも
影響を及ぼします。
曲がりくねった部
分を直線化してコ
ンクリート整備し
た川では、大雨の
度にもともと曲が
っていた地域は水
が集ってしまいます。
また、林や田畑は
降った雨水をいつ
たん溜めて序々に
川に流すという効
果をもっていますが、
そこが宅地化して



写真① 煙をおおう水

舗装されると、雨
水の地下浸透がな
くなり、降った雨
水が短時間に川に
流れこむので、川
は増水してしまう
のです。

町史には、川の
治水に関する行政
資料も集められます。

写真①は、一九
七三年ごろの小波
津川流域にある畑
の様子です。増水
した水が畑をおお
っているのがわか
ります。当時はち
ょうど川の整備が
行われていたらし
(写真②) 写真③
のような小さな橋
も川幅を広げる工
事のため撤去され
ました。
これらの工事関
係資料から、あふ

れる川の水をなん
とか治めようとし
た努力を垣間見る
ことができず。
今後も、このよう
な努力が積み重ね
られることでしょ
うし、現に小波津
川の整備計画では、
自然とマッチした
河川整備が進めら
れています。川と
仲良く暮らせる日
も近いかもしれま
せんね。



写真③ アーチ型の古い石橋



写真② 積みあげられるブロック